

[2_2]きゅうとNEWSLETTER

<https://hdl.handle.net/2324/1810681>

出版情報：きゅうとNEWSLETTER. 2 (2), pp. 1-, 2007-06. 九州大学附属図書館
バージョン：
権利関係：





くまもと

VOL. 2

NO.2

2007.6

HEALTHY LIFE



リフレッシュルーム OPEN!!

CONTENTS

- つなぐ
「医学分館とドイツの図書館」
佐々木 正博
- 資料紹介
「医学分館貴重医書コレクション」より
- 自著紹介
- NEWS
- レファレンスOne Point アドバイス
- 調べものツール、たくさん入りました
- 図書館員のおしゃべりコラム





医学分館とドイツの図書館

生物資源環境学府修士2年 佐々木正博

私は現在、農学部大学院修士2年生をしている傍ら、図書館医学分館で時間外受付のアルバイトをしています。今回は、図書館医学分館についての話と、私が留学したドイツの図書館について書かせて頂きました。

図書館医学分館について

この図書館は、中央図書館や六本松図書館と違い、九州大学の学生や附属病院に勤務されている方だけでなくその他の医療関係者の方々も文献を探しに来館されるので、学生以外の利用者の割合が比較的高いのではないかと感じています。多くの医療関係者の方々が、文献を探しに来られますので、自然と年齢層も広くなりますし、対応する側として、相手の外見と職業のギャップに驚いたりすることもあります。主に医学書が置いてあるため、医療系の名称に詳しくなったのが、この仕事をしていて面白かった点です。

アルバイトでのエピソード

病院地区の図書館ということもあり、先生や学生だけでなく、時には患者さんがやってくることもあります。ある時は、患者さんだとすぐわかるような服装でやってみえた方が、ある病気について知りたいから、本を探してくれと頼んでこられました。きっと自分の病気のことについて調べたいのだろうなと思ったのですが、私は医学部の学生ではないので、特定の病気についての本を見つけることができませんでした。力になってあげることができずに残念でしたが、いろいろ自分のご病気について話をしていかれ、病院地区ならではの出来事でした。

ドイツの図書館

ここでは、私がドイツに留学していたときに通っていた大学の図書館を紹介したいと思います。私が通っていた大学は、小高い丘の上にあり、以前お城だった建物を大学の一部として使っています。大学には図書館が二つあるのですが、その一つがなんとお城の中にあるのです。その図書館は、シャンデリアや多くの豪華な装飾によって飾られ、窓からは大きな庭が見渡せ、私は自分の持っていた図書館のイメージとのあまりの違いに圧倒されてしまいました。しかし私は、お世辞にも見事な内装とは言いがたい九大図書館を責めているわけではありません。その図書館はあまりに広く豪華な空間であったため、逆に居心地が悪く、私にとって勉強するのに適した場所ではありませんでした。狭い日本に生まれた悲しい運命でしょうか、私はいつも、九大図書館と似たような造りのもう一つの図書館で勉強していました。ドイツ人の友だちは、あの空間が気に入っていたようですので、図書館に対して人それぞれ好みがあるようです。

また図書館のサービスについてですが、ある授業の一環で、プレゼンの準備のために、図書館の文献検索講習を2日間みっちり受けさせられたことがありました。私はそのような

講習を日本の図書館では受けたことはありませんでしたが、論文やレポートを書く際に必要となる文献（特に論文）の検索方法を詳しく知っておくと、その後の研究活動がスムーズに進むと感じました。私は、このアルバイトで文献検索ツールの使い方を知っていますが、普通の学生がどのくらい検索ができるのかといったことを考えると、もっと多くの人に受けてもらうのが大学全体の利益にもつながるのではないかと思います。



ホーエンハイム大学の図書館。昔の宮殿を図書館として使っているため、シャンデリアなど内装が豪華。



5/10～5/17まで中央図書館で開催された開学記念展示「東西の古医書に見られる病と治療」より、医学分館の古医書コレクションの一部を紹介します。

医学分館貴重古医書コレクションについて

九州大学附属図書館医学分館では学内に散逸していた多くの古書を収集し、西洋の古医書や和書・漢書 9,000 冊からなる国内有数の貴重書コレクションを所蔵しています。その多くは、アジアでもヨーロッパでも非常に入手困難なもので、現在国内外の医史学者・医学者・歴史学者・医師・美術史家の方々を中心に、本コレクションの書物や挿絵に対する関心が高まっています。

これらの貴重書は 2003 年に言語文化研究院のヴォルフガング・ミヒェル教授によってデータベース化され、医学分館ホームページで「古医書画像データベース」として公開しています。

<Moxa と Acupuncture>

ヨーロッパ人が初めて東洋医学を体験した場は中国ではなく、東南アジア及び日本でした。1603 年にイエズス会士が長崎で刊行した「日葡辞典」にはすでに、ねんしん「捻鍼」、さんしやう「三焦」、けいらく「経絡」、ひやくえ「灸」、ひやくえ「百会」などの用語が見られ、当時の書簡などから宣教師たちが鍼灸の治療を受けていたこともうかがえますが、ヨーロッパでの灸術熱がその口火を切ったのは 17 世紀後半の書物においてでした。バタビアの牧師ブショフは 1675 年に『痛風と、確実で有効な治療薬について』を発表し、「Moxa」(もぐさ)という語を西洋の言語に導入し、また若き秀オテン・ライネ博士は日本での調査成果を論文集として刊行しました。足痛風の治療薬としてブショフのもぐさをさらに追究し、日本人が「コリック」を治すために利用していた鍼術を描写しています。この著書により「acupuncture」(acu=鍼、pungere=刺す)という用語がヨーロッパで広まりました。

●鍼灸を描写する最初の記述がある資料

Jacobus Bontius: De medicina Indorum.

鍼術に関する初期の記録としては VOC の医師ヤーコブ・デ・ポント (Jacob de Bondt, 1591-1631) によるものが有名です。彼は『インド*の医学について』で自分の観察をこう述べています。

「私は日本での奇蹟に近い結果について話そう。頭の慢性痛や、肝、脾の障害や肋膜炎に対しても、彼らは銀や青銅で作られた針で、7 弦琴の糸より細かい孔をあける。私自身がジャワで見たところでは、針はゆっくり静かに上述のところを反対側に出るまで通すべきである。」

*インド = 東インド

●『万物の舞台』の灸による足痛風の治療を紹介する銅版画

バタビアの牧師ブショフの著書及び出島商館長クライアーから入手した情報に基づきドイツの博物学者ミヒャエル・ベルンハルト・ヴァレンティニーニ (Michael Bernhard Valentini, 1657-1729) は 1704 年に刊行された本に灸術について詳細に紹介しました。

治療の説明文を元に銅版画家が彫った東洋風の挿し絵に治療点及び灸に火を付けるための線香が見られます。



Jacobus Bontius [Jacob de Bondt]: De medicina Indorum lib. IV. Lugduni Batavorum: Apud Franciscum Hackium, 1642.



Museum Museum Oder Vollstaendige Schau=Buehne Aller Materialien und Specereyen [...] von D. Michael Bernhard Valentini. Frankfurt am Main, Johann David Zunner, 1704.

自著紹介 本学教員より寄贈いただいた著作です。ぜひ読んでみてください



誌面の都合により、一部次号掲載とさせていただきます。

熱帯農学研究センター教授 緒方 一夫

「昆虫たちのアジア:多様性・進化・人との関わり」(九大アジア叢書7)

ISBN:4873789192 緒方一夫ほか編著 九州大学出版会 2006.3

九州大学には様々なテーマでアジアを対象とする研究者がいる。アジア総合政策センター(旧アジア総合研究センター)はそのような研究をわかりやすく紹介する目的で「九大アジア叢書」(旧「KUARO 叢書」)として新書版のシリーズを刊行してきた。本書はその第7冊目にあたる。

「昆虫たちのアジア」は生物の中でも圧倒的な多様性を誇る昆虫を通じてアジアの自然史を紹介している。6名の著者たちは熱帯農学研究センター、比較社会文化研究院、農学研究院、総合研究博物館と九州大学の様々な部局で昆虫学研究に取り組んでいる研究者である。前半は多様性と進化の観点からの話題を取り上げている。すなわち、熱帯アジアのチョウ類、中央アジアのハナバチ類、アリ類の生物地理、ゾウムシの起源と食性の進化、である。後半は人々の暮らしと関わる昆虫についての話題である。すなわち、害虫とその天敵による防除、昆虫利用文化である。口絵も含めた多数の写真や図が盛り込まれており、また実体験に基づく舞台裏のエピソードもあったりと、昆虫たちにとっての(あるいは昆虫学者たちにとっての)多様なアジアを概観することができるだろう。アジアの自然史入門の書としてもハンディな一冊である。

〔中央図書館／医学分館／芸術工学分館／六本松分館／筑紫分館に所蔵〕

経済学研究院教授 村藤 功

「日本の実務に役立つコーポレートファイナンス」

ISBN:4502380903 村藤 功著 中央経済社 2006.2

この本は、九大ビジネススクールの企業財務コースの教科書にするために書いたものだが、理論と実務の双方を意識して書いたものである。

日本人が日本の財務構造改革のために企業財務を理解するためには、まず、グローバル・スタンダードの一般理論を理解する必要がある。すなわち、財務戦略の観点から見た企業価値評価、リスク、資金調達、資本構成の最適化を始めるとするコーポレート・ファイナンスの基礎理論を理解しなければならない。しかし、残念ながら、日本の実務は理論とかなり乖離している。グローバルの理論を理解しただけでは、日本企業の実務に適用することが出来ないのだ。私は、九大で教鞭をとる前は、実務家だった。英米でグローバル・スタンダードの理論と実務を学んでから、投資銀行やコンサルタント会社において、日本企業にコーポレート・ファイナンスの理論を適用するために、色々な研究や分析を積み重ねてきたわけである。実際に使えない理論にたいした意味はない。この本では、グローバル・スタンダードの一般理論を現代の日本企業に適用する場合の主要問題点を確認することがひとつの大きなポイントである。問題点を明らかにした上で、問題解決方法の選択肢を検討し、私の考えるところを解説した。この本を読んで身につけた知識が引き続き日本の財務構造改革のために少しでも役に立てば嬉しいと思っている。

〔中央図書館／文系合同図書室(経済)に所蔵〕

人文科学研究院教授 竹村 則行

「驚鴻記校注」 明・多口洞天人編 竹村則行校注

ISBN:9784924779976 中国書店 2007.2

明代の中国は頗る元気な国である。今日にまで続く陸海の交通路が整備されたのも、万里の長城を大規模修理したのも、万暦赤絵の陶磁器が盛行したのも全て明代である。その元気の来源は地方都市の発展であり、市民の活躍にあったと考えられる。その繁栄は、思想では個人を重んじる陽明学に象徴され、文学では朱王朝が嗜好した戯曲に現れる。『驚鴻記』は、梅を愛した梅妃をヒロインに仕立てた明代の戯曲である。楊貴妃のライバルとしての梅妃そのものもともと宋人が編み出した虚構なのだが、『驚鴻記』では宋人の「梅妃伝」に基づき、李白や杜甫その他の著名文人をフル出場させ、史上に忘れられた梅妃の活躍を描く。史実の検証などお構いなし、明代を象徴する頗る元気な戯曲である。

その版本は、400年を経て、中国北京大学(もと葉德輝-馬廉蔵本)と日本大谷大学(もと神田喜一郎蔵本)に明版が伝存する。本校注は京都大谷大本を底本として新たに組み直し、編注者の関連論文を附載して、今日における『驚鴻記』の定本を目論んだものである。

〔中央図書館／六本松分館／文系合同図書室(文)に所蔵〕

名誉教授(経) 西村 明

「アジアにおける企業経営・管理会計」

ISBN:4502265608 西村明著 中央経済社 2006.10

本書は、アジア地域における企業経営・会計の構造と内容を解明したものであるが、特に最近の企業経営において等閑に付すことのできないコーポレート・ガバナンスを管理会計(内部統制)の立場から検討し、アジア企業の管理会計と財務会計との関連性を追求している。また、中国における国有企業の欠損問題を経済の発展及び産業・地域に関連させながら分析し、中国経済に内在する諸問題に接近している。本書は、アジア企業を分析対象にしているが、これまでの筆者の研究手法論(Management Accounting: Feed forward an Asia Perspectives, 2003, Palgrave Macmillan)の枠組み(公開と会計責任、管理責任の諸概念、発展段階のフレームワーク)をより具体的に展開したものとなっている。アジアの文化と精神を踏まえた、欧米とは異なる独自の管理会計の発展を期待しての研究作業である。経営(管理)と企業の結合携帯としての管理会計を国際比較という横軸において捉え、両者の統合化を試みている。

〔中央図書館に所蔵〕

比較社会文化研究院助教授 波瀾 剛

「越境のアヴァンギャルド」

ISBN:4757141157 波瀾剛著 NTT出版 2005.7

映画、絵画、写真、文学やファッション、ポピュラー音楽などの領域で、しばしば「アヴァンギャルド」という用語を目にします。ですが、それらが使われている文脈を検討してみると、場合によっては矛盾しているように思えることもあります。ではその場合、どちらかが正解で、どちらかが間違いなのでしょう。こうした疑問から出発して、日本におけるアヴァンギャルド受容の系譜を調べたのが本書です。「政治的前衛」と「芸術的前衛」という対立軸が明確になる1930年以降に焦点を当てて、用語の翻訳される経路や運動に関わった人々の足跡をたどっています。また西欧の文化と対峙する過程で形成される「日本」という意識が、東アジア地域に対する考え方とどのように接続していったのかという側面から、飯島正、群司次郎、正、伊藤整、岡本太郎、花田清輝、安部公房について議論しています。

〔六本松分館に所蔵〕

経済学研究院教授 永池 克明

「電機産業の発展プロセス：競争力を高める企業戦略」

ISBN:9784502390500 永池克明著 中央経済社 2007.3

わが国電機産業は、戦後の荒廃からいち早く立ち上がり、数多くの試練を乗り越え、日本経済を牽引してきた。その特徴は国内外市場での熾烈な競争の中で培われた強靱なモノづくり精神と絶えざる技術革新による長期的持続性である。それはどのように培われてきたのか。本書は企業戦略の視点から、わが国電機産業の発展を時系列的にたどり、競争戦略やイノベーション戦略、グローバル戦略、戦略的提携、産業政策との関係等を通じて総合的に考察した初めての試みである。その上で日本企業の強みを生かし、グローバル競争にも打ち勝つビジネスモデルとはいかなるものかについて論じた。長年にわたる電機産業での勤務経験と、ビジネススクールで講義経験をもとに、極力具体的かつ企業の事例を豊富にとりあげて、読者の理解を深めることを心がけた。電機業界や企業戦略に興味を持つビジネスパーソン、研究者、大学院・学部の学生等の皆さんに一読して頂ければ幸いである。わが国電機産業は、戦後の荒廃からいち早く立ち上がり、数多くの試練を乗り越え、日本経済を牽引してきた。その特徴は国内外市場での熾烈な競争の中で培われた強靱なモノづくり精神と絶えざる技術革新による長期的持続性である。

それはどのように培われてきたのか。本書は企業戦略の視点から、わが国電機産業の発展を時系列的にたどり、競争戦略やイノベーション戦略、グローバル戦略、戦略的提携、産業政策との関係等を通じて総合的に考察した初めての試みである。その上で日本企業の強みを生かし、グローバル競争にも打ち勝つビジネスモデルとはいかなるものかについて論じた。

長年にわたる電機産業での勤務経験と、ビジネススクールで講義経験をもとに、極力具体的かつ企業の事例を豊富にとりあげて、読者の理解を深めることを心がけた。電機業界や企業戦略に興味を持つビジネスパーソン、研究者、大学院・学部の学生等の皆さんに一読して頂ければ幸いである。

〔中央図書館／文系合同図書室(経済)に所蔵〕

NEWS

開学記念展示会を開催しました

5月10日から17日の8日間、開学記念行事の一環として「東西の古医書に見られる病と治療 —附属図書館の貴重書コレクション—」の展示を行いました。

これは、およそ17世紀から19世紀までの資料に見られる諸事例を通じて、昔の病気観と治療法を概観するもので、各種疫病や寄生虫、傷・腫物の手当て、鍼灸など、当時の人々の病気に対する考え方や治療法、東西交流における日本の貢献など、普段あまり見ることもない資料を広範囲にわたって展示し、期間中372名の来場者がありました。

また、5月13日には言語文化研究院ヴォルフガング・ミヒエル教授による公開講演会も開催されました。



「リフレッシュルーム」オープン

中央図書館2階にリフレッシュルームがオープンしました。リフレッシュルームには自動販売機を設置しておりますので飲食可能なスペースとして利用できます。また、開設に伴い閲覧室内にペットボトル等を持込めるようになりました。

館内での長時間の学習・研究の合間の休憩や気分転換にぜひご利用ください。



短冊に願いをかけて…

大変好評を頂きました七夕の笹飾りを、今年も中央図書館玄関前に準備します(7月7日まで)。みなさんの思いを綴った短冊で、笹をいっぱい飾ってみませんか。
※館内常設展示コーナーにて関連展示も行います。こちらをご覧ください。

レファレンス OnePoint アドバイス

Q. 国内雑誌の電子ジャーナルはありますか？

A. 九州大学では、J-STAGE、CiNii、メディカルオンラインなど、3,000誌以上が利用できます。きゅうとOPAC (<http://opac.lib.kyushu-u.ac.jp/>)で、雑誌名から検索します。

もし見つけた雑誌の詳細画面に「FulltextきゅうとLinQ」のアイコン^{*1}が表示されていたら、電子ジャーナルが利用できます。他に、きゅうとE-Journalsでのブラウズする方法(0-9をクリック)^{*2}や、CiNii、医中誌Web、JDreamIIの検索結果から「きゅうとLinQ」を使って利用する方法もあります。



調べもののツール、たくさん入りました。

日本語の辞書・事典データベース

JapanKnowledge

GoogleやWikipedia
だけではありません。

THOMSON

GALE

Gale Virtual Reference Library

人文社会学系の事典
40タイトルがオンラインで。

他にもこんなものが使えるようになりました。



国立天文台「理科年表」公式サイト。大正14年の創刊から最新年度版まで、過去80年分の膨大なデータを掲載



収録記事約4,000万件。医・薬学を含む日本最大級の
科学技術文献情報データベース



毎日更新 各国著名人収録人物総数130万人
分野別人名録オンライン版データベース



『Encyclopedia of Inorganic Chemistry. 2nd Edition』
(無機化学事典 全10巻)のオンライン版

アクセス方法

附属図書館webサイト ▶ Research ▶ 調べもの

※学内LANに接続されたパソコンからご利用ください

図書館員の

おしやべり コラム

4月に中央図書館から芸工分館に異動になってきました。まず、目についたのが図書館に入ってくる掲示版です。図書館からのお知らせはもちろんですが、全国の美術館や博物館からのチラシでいっぱい。また、一緒に送られてきた招待券や優待券もあります。(旅行などに行く前にはチェックしておくといいかもかもしれません)

芸工分館の特徴としては美術書・展覧会の図録・貴重な歴史的建造物の修理・保存等の報告書などがたくさんあります。楽譜のための書架もあり歌謡曲・合唱曲からクラシックまでいろんな楽譜が並んでいます。視聴覚資料のためのビデオ室・ステレオ室が独立しており、ゆっくり一人で楽しむことができます。視聴覚室では今では見かける事

が難しいLaserdiscも見ることが出来ます。学生達に向けての「私の推薦図書」や「卒業生著作物」のコーナーもあります。

最後に、図書館の中をぐりと一周すると

- ・対馬(知足院美加子先生の彫刻)
 - ・サグラダ・ファミリア聖堂の柱(1/10模型)
 - ・学生達の作品
 - ・聖ジョルジョ像
 - ・聖ヨセフ像
 - ・昭和初期にデザインされたとってもモダンな椅子など
- 本だけでなくいろんな作品にも出会える図書館です。
(芸工分館 I.K.)

